

報道機関 各位

熊本大学

松田俊郎准教授らが推進する「EVバス、トラックの普及拡大を可能とする大型車用EVシステム技術開発」プロジェクトが、環境省のCO2排出削減のための技術開発・実証事業に採択されました！

熊本大学大学院先端科学研究部の松田 俊郎 准教授が代表者として推進する実用化研究プロジェクトが、環境省の「平成28年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」に採択されました（事業期間：平成28年度～30年度）。

本実用化研究プロジェクトは、環境対応が遅れているバス、トラックの迅速なEV（電気自動車）化を促進する為、高信頼性・低コストの乗用車EVの量産技術を活用した大型車用普及型EVシステムを実用化し、日本自動車車体工業会に所属する全国の車両製造会社での生産供給を目指して車両設計製造技術を標準化し、EVバス、トラックを普及拡大させようとするものです。

社会的効果として、CO2の大幅な削減、公共交通バスやトラックの排気ゼロ化と低燃費化を実現し、地方でのEVバス、トラック生産や地域で最適なEVバス、トラックの運用による産業振興、地方創生が期待されます。

⇒環境省の発表はこちらをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/102545.html>

1. 事業名

EVバス、トラックの普及拡大を可能とする大型車用EVシステム技術開発

2. 代表事業者

熊本大学

3. 共同事業者

(株)イズミ車体製作所、オートモーティブエナジーサプライ(株)、(株)ピューズ、熊本県、九州産交バス(株)

4. 実施予定年度

平成28年度～平成30年度

(研究開発の背景)

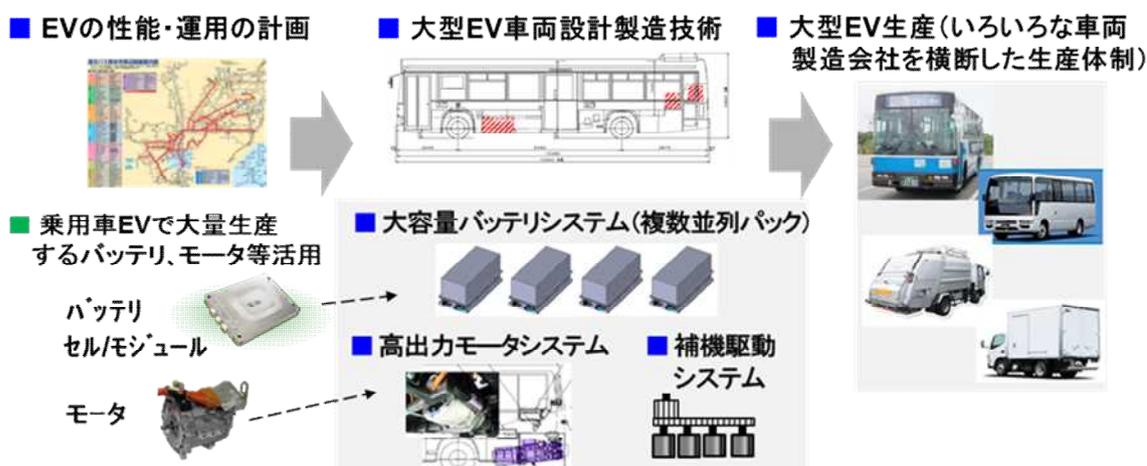
わが国の交通部門のCO2削減を進める為にバス、トラックカテゴリーへの環境対応車（EV:電気自動車、FCV:燃料電池車、HV:ハイブリッド車など）の早

期導入が必要とされていますが、EVバス、トラックの普及は大きく遅れています。これまでのEVバスの導入例は、実証試験や限定的な営業運転のみであり、価格が高いことが原因で普及は遅々として進んでいない状況です。

(研究開発の特色)

1) EVバス、トラックの迅速な拡大を図る為に、低価格で高い信頼性を持った普及型EVシステムを実用化する必要があり、乗用車EVで大量生産されるリチウムイオン電池技術やモーター技術を活用した大容量並列バッテリーシステム（電力容量：120kWh）や高出力モーターシステム（出力：200kW）、エアコンやブレーキなどの補機駆動システムを開発します。

既に確立している乗用車EVの大量生産技術を使うので高い信頼性が確保でき、EVバスを作る為のコストを従来の1/6程度に低減することが可能です。



2) EVバス、トラックの迅速な拡大を図る為に、日本自動車車体工業会（トラック、バス、トレーラーなどの「働く車」を製造する会社で構成される工業会）に所属する全国の車両製造会社での生産供給を目指して車両設計製造技術を開発し標準化します。従来の自動車会社の枠を超えた生産体制により、高品質、低価格のEVバス、トラックを迅速に普及させることが可能になります。

3) 今回開発するEVバスは、日本全国への迅速な普及拡大を目指している為、EVバスの性能と運用、充電、保守など十分な実証試験が必要です。EVバス全国展開のモデルケースとして、平成29年度に熊本県、九州産交バス(株)と共同で、熊本市近郊路線での実証試験を行い、その後、全国に拡大します。

(研究開発の体制)

熊本大学が技術開発を統括し、熊本県、(株) イズミ車体製作所、九州産交バス(株)の熊本の産学官連合が加わる大型プロジェクトです。

==== 参加事業者と分担 =====

- ・熊本大学 : 技術開発統括、性能計画
- ・(株) イズミ車体製作所 : 車両設計製造技術開発

- ・オートモーティブエネルギーサプライ(株)：大容量バッテリーシステム開発
- ・(株)ピューズ：補機駆動システム、車両制御システム開発
- ・熊本県：EVバス導入政策、実証試験計画
- ・九州産交バス(株)：EVバス実証試験

(研究開発の日程)

平成28年度に大型車用EVシステム技術を準備し、平成29年度に実証実験を行い、平成30年度に開発を完了する予定です。

(期待される効果)

低価格EVバス・トラックの普及拡大が可能になり、交通部門のCO₂の大幅な削減、公共交通バスやトラックの排気ゼロ化と低燃費化を実現できます。

また地方でのEVバス・トラック生産や地域で最適なEVバス・トラックの運用による産業振興、地方創生が期待されます。

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院先端科学研究部

(大学院先端科学研究部情報電気電子工学専攻)

担当：准教授 松田俊郎

電話：096-342-3631

e-mail：toshiromatsuda@cs.kumamoto-u.ac.jp